



2020年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月31日

上場会社名 元気寿司株式会社

上場取引所 東

コード番号 9828 URL <https://www.genkisushi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 法師人 尚史

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 齋藤 義範

TEL 028-632-5711

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,823	5.5	558	23.3	556	23.6	374	45.1
2019年3月期第1四半期	10,256	6.1	727	102.8	727	99.3	682	197.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 350百万円 (50.3%) 2019年3月期第1四半期 706百万円 (213.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	42.42	
2019年3月期第1四半期	77.31	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	21,378	8,781	41.1
2019年3月期	21,942	8,563	39.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 8,781百万円 2019年3月期 8,563百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		15.00		15.00	30.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,670	6.3	1,750	24.4	1,770	23.3	1,110	41.4	125.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期1Q	8,882,908 株	2019年3月期	8,882,908 株
期末自己株式数	2020年3月期1Q	54,914 株	2019年3月期	54,894 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期1Q	8,828,007 株	2019年3月期1Q	8,828,324 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の堅調さを背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の不確実性の高まりや世界的な通商問題等により、先行き不透明な状況が続きました。

外食産業におきましては、根強い消費者の節約志向・低価格志向に加え、労働力不足を背景とした人件費の増加や原材料価格の上昇、業種業態を超えた競争の激化等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループといたしましては、「驚きと感動をお客様へ」をキーワードに、「より一層の顧客満足度向上」「進化し続ける企業」を目指し、外食の基本であるQ・S・C（クオリティ・サービス・クレネンス）の強化に、全社一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高108億2千3百万円（前年同期比5.5%増）、営業利益5億5千8百万円（前年同期比23.3%減）、経常利益5億5千6百万円（前年同期比23.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益3億7千4百万円（前年同期比45.1%減）となりました。

増収減益の主な要因といたしましては、店舗売上高が引き続き堅調に推移した一方で、原材料価格や人件費上昇等により、営業利益、経常利益及び親会社に帰属する四半期純利益はいずれも減少しております。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(国内事業)

国内事業におきましては、店舗収益力とブランド力の向上を目指し、外食の基本であるQ・S・Cの強化に取り組むとともに、今後の店舗展開の基盤づくりとして、従業員が働きやすい環境の整備に取り組み、採用・教育の強化、有給休暇取得の推進、一部店舗の営業時間短縮等を実施いたしました。

商品につきましては、原材料価格の上昇が続く中、メニュー構成を見直すほか、ご注文データを活用した店舗在庫管理適正化並びに食品廃棄ロス削減に取り組むことで、原材料価格上昇の影響を最小限に抑えつつ、商品力の強化に努めてまいりました。また、商品開発では本物志向で取り組み、寿司メニューの更なる充実と品質向上を図りつつ、魅力的で話題性のあるサイドメニューやデザートメニュー、催事メニュー等をタイムリーに投入し、幅広いお客様のニーズに対応してまいりました。

また、当社独自のオールオーダー型「回転しない寿司」の強みを生かし、食材の鮮度や品質管理水準の更なる向上を図るとともに、寿司本来の美味しさをお客様にお届けできる仕組みと組織の構築に取り組んでまいりました。

これらの取り組みの効果もあり、引き続き売上高は、前年と比較して堅調に推移いたしました。

店舗展開につきましては、「回転しない寿司」の店舗拡大に注力するとともに、競争力の強化と進化に取り組んでまいりました。

当連結会計年度におきましては、新設店2店舗を出店したことにより、国内の総店舗数は156店舗となり、このうち「回転しない寿司」の店舗数は126店舗となりました。

この結果、国内事業の売上高は、92億3千8百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は2億9千2百万円（前年同期比31.7%減）となりました。増収減益の主な要因といたしましては、店舗売上高が引続き堅調に推移したことや、生産性向上の取り組みによる一定の効果があったものの、原材料価格や人件費の上昇、システム投資等に伴う費用の増加等があったことにより、セグメント利益は減少しております。

(海外事業)

海外事業におきましては、フランチャイズ先との良好な関係維持と新規出店の促進を図るため、積極的に現地確認し、フランチャイズ先との情報交換等を行ってまいりました。また、国内最新店舗のシステムと技術を世界へ向けて発信するとともに、国内と同等のQ・S・Cレベル維持のための派遣指導等を積極的に行うほか、季節メニューの紹介や食材の販売強化に取り組んでまいりました。

子会社におきましては、新メニューの開発やテイクアウトメニューの充実により販売強化を図るとともに、Q・S・Cレベルの向上に取り組む、営業力を強化してまいりました。

店舗展開につきましては、フランチャイズ先において、香港2店舗、シンガポール1店舗を出店し、中国2店舗、タイ1店舗、インドネシア1店舗を退店したことにより、海外の総店舗数は193店舗となりました。国内事業と同様に、海外事業においても「回転しない寿司」型店舗の展開を進めており、全体の4割ほどにあたる82店舗が「回転しない寿司」の店舗となりました。

この結果、海外事業の売上高は、15億8千5百万円（前年同期比1.6%減）、セグメント利益は2億5千5百万円（前年同期比22.1%減）となりました。減収減益の主な要因といたしましては、フランチャイズ先の一部地域において現地情勢の変化による影響があったこと等によりロイヤリティ収入が減少し、米国子会社においては、好調であった前期に比べてやや低調に推移したことにより、セグメント売上高は減少いたしました。また、それらの影響により、セグメント利益も減少いたしました。なお、売上高は子会社の売上、フランチャイズ先への食材等売却売上、フランチャイズ先からのロイヤリティ収入（売上高の一定率等）等であります。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ5億6千3百万円減少し、213億7千8百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少5億8百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ7億8千1百万円減少し、125億9千7百万円となりました。これは主に、長期借入金（1年内返済予定を含む）の減少2億9千9百万円、買掛金の減少2億1千5百万円、未払法人税等の減少2億4百万円があったこと等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億1千8百万円増加し、87億8千1百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上3億7千4百万円があったこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は2.1ポイント上昇し、41.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ5億8百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には39億2千8百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、5億1千7百万円（前年同四半期は3億2千8百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益5億5千6百万円、減価償却費4億4千9百万円による増加があった一方で、法人税等の支払額2億3千2百万円による減少があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、3億1千9百万円（前年同四半期は3億2千6百万円）となりました。これは主に、店舗の新設等による支出2億9千6百万円があった一方で、差入保証金の回収5千5百万円があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、7億2百万円（前年同四半期は6億5千7百万円）となりました。これは主に、リース債務の返済2億8千7百万円、長期借入金の約定返済2億8千2百万円を行ったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月8日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,436,895	3,928,330
売掛金	741,442	627,550
商品及び製品	319,611	345,662
原材料及び貯蔵品	110,773	118,699
その他	452,444	490,967
貸倒引当金	△8,134	△7,231
流動資産合計	6,053,033	5,503,978
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,734,754	8,897,194
土地	700,569	700,569
リース資産	7,410,012	7,414,869
その他	1,725,803	1,696,884
減価償却累計額	△9,011,505	△9,186,300
有形固定資産合計	9,559,633	9,523,217
無形固定資産	284,890	378,419
投資その他の資産		
差入保証金	3,829,425	3,790,776
その他	2,216,171	2,183,365
貸倒引当金	△866	△779
投資その他の資産合計	6,044,730	5,973,362
固定資産合計	15,889,254	15,875,000
資産合計	21,942,287	21,378,978

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,700,977	1,485,697
1年内返済予定の長期借入金	1,054,719	1,007,821
未払法人税等	298,000	94,000
賞与引当金	336,000	131,000
転貸損失引当金	7,560	7,560
資産除去債務	525	1,500
その他	3,450,895	3,633,096
流動負債合計	6,848,677	6,360,675
固定負債		
長期借入金	1,377,360	1,124,851
リース債務	4,398,669	4,343,999
転貸損失引当金	29,950	28,060
資産除去債務	633,060	652,312
その他	91,094	87,192
固定負債合計	6,530,134	6,236,416
負債合計	13,378,811	12,597,092
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,151,528	1,151,528
資本剰余金	1,344,671	1,344,671
利益剰余金	6,239,839	6,481,860
自己株式	△76,404	△76,475
株主資本合計	8,659,635	8,901,585
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△953	△967
為替換算調整勘定	△95,205	△118,732
その他の包括利益累計額合計	△96,159	△119,699
純資産合計	8,563,476	8,781,886
負債純資産合計	21,942,287	21,378,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	10,256,993	10,823,985
売上原価	4,108,224	4,389,638
売上総利益	6,148,768	6,434,346
販売費及び一般管理費	5,421,137	5,876,156
営業利益	727,631	558,190
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,145	8,381
受取賃貸料	9,357	9,763
受取手数料	14,671	14,396
その他	6,193	3,743
営業外収益合計	37,368	36,285
営業外費用		
支払利息	26,208	23,439
賃貸費用	10,193	10,468
その他	929	4,301
営業外費用合計	37,331	38,209
経常利益	727,668	556,266
特別損失		
減損損失	5,700	—
賃貸借契約解約損	2,500	—
特別損失合計	8,200	—
税金等調整前四半期純利益	719,467	556,266
法人税、住民税及び事業税	95,543	67,454
法人税等調整額	△58,576	114,370
法人税等合計	36,967	181,825
四半期純利益	682,500	374,440
親会社株主に帰属する四半期純利益	682,500	374,440

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	682,500	374,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△370	△13
為替換算調整勘定	24,409	△23,526
その他の包括利益合計	24,039	△23,540
四半期包括利益	706,539	350,900
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	706,539	350,900

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	719,467	556,266
減価償却費	421,333	449,102
減損損失	5,700	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△257	△989
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△213,000	△205,000
転貸損失引当金の増減額 (△は減少)	△1,890	△1,890
受取利息及び受取配当金	△7,145	△8,381
支払利息	26,208	23,439
賃貸借契約解約損	2,500	—
売上債権の増減額 (△は増加)	35,175	113,840
たな卸資産の増減額 (△は増加)	2,151	△34,610
仕入債務の増減額 (△は減少)	△178,881	△211,948
その他	△19,751	93,136
小計	791,611	772,964
利息及び配当金の受取額	63	1,001
利息の支払額	△26,192	△23,630
法人税等の支払額	△437,434	△232,461
営業活動によるキャッシュ・フロー	328,047	517,873
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△160,175	△167,462
無形固定資産の取得による支出	△242	△88,320
差入保証金の差入による支出	△206,774	△40,806
差入保証金の回収による収入	52,711	55,715
その他	△12,485	△78,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	△326,966	△319,695
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△322,373	△282,161
リース債務の返済による支出	△282,280	△287,920
配当金の支払額	△52,969	△132,420
その他	—	△70
財務活動によるキャッシュ・フロー	△657,623	△702,573
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,159	△4,170
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△655,383	△508,565
現金及び現金同等物の期首残高	4,875,030	4,436,895
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,219,646	3,928,330

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,646,102	1,610,891	10,256,993	—	10,256,993
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	8,646,102	1,610,891	10,256,993	—	10,256,993
セグメント利益	428,639	327,749	756,389	△28,758	727,631

(注) 1. セグメント利益の調整額△28,758千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,238,087	1,585,897	10,823,985	—	10,823,985
セグメント間の内部売上 高または振替高	—	—	—	—	—
計	9,238,087	1,585,897	10,823,985	—	10,823,985
セグメント利益	292,785	255,172	547,958	10,232	558,190

(注) 1. セグメント利益の調整額10,232千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。